

# 今後の専門委員会の方針について

---

# 第1回の委員ご意見を踏まえた今後の委員会の全体方針(案)

○第1回委員会の委員ご意見を踏まえて、以下の大きく3つに取り組むこととしたい

A) 計画のモニタリング

B) 計画の推進 … 1) 地域生活圏・二地域居住の促進に係る施策の検討 2) 長期的・広域的な「国土の将来像」の整理

	A) 計画のモニタリング	B) 計画の推進
生活圏 関係	<p>&lt;第1回委員会でいただいたご意見&gt; ○第1回で提示されたデータのほか、地域の実態、国際比較等のデータも見るべきではないか。</p> <p>➤ 最近の「国土をとりまく状況」について、 <b>追加データ(生活圏関係)</b>を確認</p>	<p>本日 (第2回)</p> <p>&lt;第1回委員会でいただいたご意見&gt; ○地域の実態を把握する必要があるのではないか。 ○地域の自発的な動きを支える枠組みが必要ではないか。</p> <p>➤ <b>B-1) 地域生活圏・二地域居住の促進の 取組状況の確認と更なる施策の検討</b></p>
広域 関係	<p>➤ 最近の「国土をとりまく状況」について、 <b>追加データ(広域関係)</b>を確認</p>	<p>&lt;第1回委員会でいただいたご意見&gt; ○昨今の最も大きな社会変化はAIで人口分布にも影響し得るが、誰にも明確な答えがない。 ○国土形成計画は巨大災害や技術革新といった不確実性に耐えるもので、複数のシナリオの可能性を持ち、柔軟に対応することが大切。</p> <p>➤ <b>B-2) 社会経済の各変化が国土構造に与える 影響</b>について多面的・仮説的な整理を行う</p>
	<p>➤ 第3次国土形成計画に記載のある<b>施策の推進状況</b>を把握</p> <p>&lt;第1回委員会でいただいたご意見&gt; ○社会の変化が加速度的に速くなる中、変化は時間的・空間的にまだらに生じており、そうした変化を素早く的確に把握することが必要ではないか。 ○トピックデータとしてモニタリングができないか。</p> <p>➤ 全国的なデータに現れない国土の動きを <b>トピック的に分析</b></p> <p>第3回以降予定</p>	<p>第3回予定</p>

# A) 国土形成計画のモニタリングの方針(案)

## ① 最近の「国土をとりまく状況」を全国データに基づき確認する


- 令和5年の計画策定時で把握していた国土をとりまく状況からの変化や、新たに把握・着目したデータを整理  
⇒第1回の委員ご意見を踏まえて、第1回に提示したデータのほかにみるべきデータを追加で提示  
⇒**本日(第2回)に「生活圏」の関連データ**(資料3)を示し、**「広域」の関連データは第3回以降**で提示することとしたい。

## ② 第三次国土形成計画に記載のある施策の推進状況を把握する

- 施策の着手状況を総括するとともに、分野横断的な観点から、施策の更なる推進に向けたご意見や課題等を整理  
⇒**施策の推進状況を第3回以降**で示すこととしたい。

## ③ 「国土をとりまく状況」に関連するテーマについて、トピック的にデータを分析、整理する

- 第1回で提示した全国的なデータに現れないような国土における前向きな変化や兆し等の機会要因を捉える  
⇒トピック的な分析はP3をイメージとしつつ、**具体的には第3回以降で示す**こととしたい。



①～③を把握、整理することにより、全国データや数値にはすぐには現れてこないような進捗を含めて、**総合的に国土形成計画の実装状況を把握するとともに、施策の推進・見直し等に活用**

# A) 国土形成計画のモニタリング：トピック的分析とは

- 第1回（4/24）において、委員より、
    - ・ 社会の変化が加速度的に速くなる中、**変化は時間的・空間的にまだら**に生じており、**そうした変化を素早く的確に把握**することが必要ではないか。
    - ・ **全国的なデータとして数字には表れないような進捗**があることに留意すべき。
    - ・ **トピックデータ**としてモニタリングができないか。
- といったご意見をいただいた。

- 全国的なデータに現れないような国土における前向きな変化や兆し等の機会要因を捉えるため、特定のトピックについて一部地域のデータや事例等も併せて確認することとし、**第3回以降に事務局より分析結果を示す**こととしたい。
- 事務局においては、以下のトピック候補の分析を検討しているところ。

## トピック候補と分析イメージ(案)

### ➤ スタートアップ等の新規事業が創出されている地域的特性に関する分析

どの地域において新たな事業が生まれているのか、また、そうした事業が生まれる地域にはどのような要因があるのか等について分析する。

### ➤ 地域経済循環の構造分析

地域の事業者によるサービス提供を通じて生まれる資金や雇用が域外へ流出することなく、地域内で循環する構造を分析するとともに、域外から企業立地や投資を呼び込み、資源の流入及び域内循環の実態を分析する。

### ➤ 二地域居住による地域への経済・社会的効果の分析

二地域居住者が地域に滞在することにより、当該地域にもたらされる効果を整理する。

- 第1回（4/24）において、委員より、
    - ・ **昨今の最も大きな社会変化はAIで、人口分布にも影響し得る**が、誰にも明確な答えがない。
    - ・ 国土形成計画は巨大災害やAI、技術革新といった**不確実性に耐えるもの**で、複数のシナリオの可能性を持ち、**柔軟に対応**することが大切。
- といったご意見をいただいた。

- 効果的な計画の推進、将来的な計画の見直し・策定に向けて、不確実性を伴う社会経済状況の変化が国土構造に与える影響について、**多面的・仮説的に議論を行う**こととしたい。
- 事務局においては、以下の社会経済情勢の変化を候補として検討しているところであり、第3回以降に議論の基礎となる情報等を提示したい。

## 国土構造に影響を与え得る社会経済状況の変化（案）

### ◆ ウェルビーイング志向の高まり

生活の質や精神的な豊かさを重視する志向が進むことにより、二地域居住の進展等、多様なライフスタイルや新たな暮らし方・働き方が実現することで、国土のあり方がどのように変化するか整理する。

### ◆ 生成AIの技術進展

生成AIの技術進展が雇用・労働市場への影響等を通じて、人口分布、ひいては国土のあり方にどのような影響を与えるか整理する。

### (例) 生成AIの技術進展

